

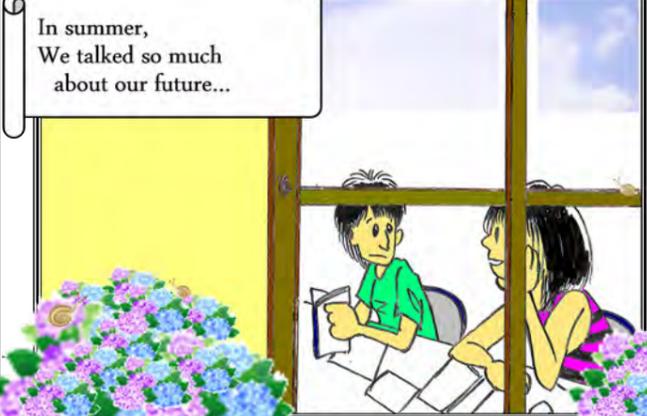
20年後、30年後の故郷を思い...

片桐英数塾通信

高3生も中3生も、本当に良い緊張した顔つきで頑張っています。まだまだ受験も控えているというのに、「こんなことを書いては不謹慎なのかもしれないが、頑張る人の姿とは美しいものだ」と感動しておられます。「はよ終わって欲しい...」という声をよく耳にします。さぞや苦しいことと存じます。しかし、傍から見てみると、とても輝いて見えますよ。今、この経験で得ているものは合格ばかりではなく、さらに尊い人間としての力です。

受験もさることながら、卒業もすぐ目の前までやってきています。今年も3年生が巣立っていくのか...、と思うと、正直なところ寂しい気もしております。ま、どうせ、夏頃には遊びに来てくれるかな...。来ないかもしれないけれど、それはさて置き、「この頃、ちよつと気になる事があります。これは、私だけが感じていないことなのかもしれない。はつきりとは分らないのですが、そのことについてのみようと思えます。こんなことを感じている人もいるんだと、さらりと読んで頂ければ幸いです。

昨年、大学へ進学し、長期休暇での帰省ついでに塾に顔を出してくれた子がいました。彼と話して、そういや、彼は一人っ子だったと思えば、卒業したら帰って来るんやろ?と聞いたところ、「もちろん帰ってきたいです。けど、国内でさえ就職は難しいし、外国で生きていくことさえ覚悟しなければならぬと考えているんです。」と聞かされた時、私は何かに殴られたようなショックを受けました。



そう言えば、最近、「帰ってきたい。けど就職を考えると帰れない。」と言う子が多くなつたように感じます。昔からのなにかもしいのですが、どうも、最近この言葉をよく耳にするもので、とても気になります。

ちよつと話は飛びますが、自分って家族・家庭に支えられて自分が元気でいられます。自分が元気で、家族・家庭にも活力が出てきます。逆に家族・家庭が元気でなくなれば、自分だって元気がなくなるものです。これは社会と家庭との関係も同じだと思えます。家庭の元気が無くなれば社会の元気が無くなる。社会の元気が無くなれば、家庭の元気が無くなって、自分の元気が無くなって、自分の元気が無くなって...

身内が病気をしたり健康の問題が起きてくると、自分も家庭もどうしても元気が無くなつてきます。人とは古いゆくもので、若いうちは気にも留めてなかったことが、時を重ねる重なるに従って、問題となつて現れます。例えば、両親が若いうちは親に心配させるのが子の務めのようなところがあつたのですが、両親も徐々に老いてゆくと、子供としてはどうしても両親の健康が気になり始めます。そうなたた時、親元近くにいられば割と落ち着けるのですが、離れていると、不安でたまらなくなるものです。

そんなことは分かった上で、就職を求めて外に出ていこうとしているように感じます。分かってはいるけど、それでも、就職を考えると仕方がない。恐らく、多くの子が、そのような思いを胸に秘めているように感じています。昔は、都会に憧れ、より良い何かを求めて外へ出て行こうとしていたものが、今は、外へ出る目的が、就職が目的であり、生活が目的となつてきているように感じます。何とも世知辛い世の中になつたものだと思います。



はこの地元が大好きです。何が好きと言つても特に自然が大好きです。朝焼けに染まる讃岐山脈。いくら見ても飽きない燦爛(ひうちなだ)。庄内半島から見る海に沈んでゆく夕日なんて、本当に感動します。実際、学生時代に、名古屋出身の友人が遊びに来ていて、この自然の素晴らしさに感動し、本気でここで暮らそうかと考えていたくらいですから、地元以外の人が見ても美しいものなのでしょう。

好きだからこそ考え過ぎしてしまうのですが、必死に外へと活路を見出そうとしていた子らを見ると、そんな姿にエールを送る反面、地元の子に少な々の不安を覚えてしまいます。人口のこともあります。経済のこともあります。しかし、一番気になるのは、家庭の元気が無くなり、地域社会の元気までなくなつてしまふかも知れないことです。もちろん、私の思い過ぎなのだと思うのですが、いつかは問題提起したいと考えておりましたので、思い切って書かせて頂きました。だからと言って、これから外へと向かつて行く子らに「地元を思うのなら無理にでも帰って来い」と言っているのではありません。分かります。



先日、とある教育業界の方とお話をしておりました。「これからは特に感受性が大事だ」と仰つてました。全くその通りだと思えます。感じることも感動することも無く、論理や知識を学んでも、それは役に立たないと思えます。もちろん、その「テスト」や「第1点」を取ることは役に立つのですが、感じたり感動したりが出来てこそ、論理や知識を駆使して、何かを作り出すとするのであって、感受性こそが何より大切なものだと思います。その土地から何かを感じることで育まれていくものだと思います。山や空や海や、

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思えます。グローバル化によって、境界がなくなりつつにまるとまると、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもってここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元で育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

ここから外へ出て力を付ける人がいて、力を付けて帰ってきて、ここを拠点にする人がいて、そういう世界に通じる力の出入りがある、新たな何かが生まれてくるように思えます。それに、本当の国際人とは、自分の生まれ故郷を愛し、自分の信ずるものを持つ者です。

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com



ご卒業おめでとう

中3生、高3生の皆さん、卒業おめでとう！皆さんが、将来大きく羽ばたいて、社会で活躍することを切に願っています。片桐英数塾は、卒業後もずっと皆さんのことを応援しています。卒業生の皆さんへ、心をこめて、この言葉を贈ります。

The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams.

未来は、自分自身の夢の美しさを信じる者の手にある
すべての受験を終えた高3生の皆さんは、合格大学について坂本教室まで必ずお知らせください。体験談へのご協力もお願いします。また、卒業後も塾から近況を尋ねることがあると思いますので携帯アドレスを変更した時には塾まで連絡をくださいな。

満開の桜が咲き誇る希望に満ちた春を迎えられますように...

坂本教室の3月の休日は、4日(日)11日(日)18日(日)25日(日)です。
塾からののお知らせなどをホームページにて配信！メールでの連絡はこちらまで！
<http://www.katagirijuku.com> katagirijuku@docomo.ne.jp

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思えます。グローバル化によって、境界がなくなりつつにまるとまると、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもってここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元で育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

急募！ 塾スタッフ募集のお知らせ

塾運営全般をサポートして下さるスタッフを募集しています。

- ☆求める人材 4年生大学卒以上、人と接することが好きな方
- ☆仕事内容 電話対応、受付業務、教務補助など
- ☆勤務時間・曜日 月曜日～土曜日 (15:00～22:00) 相談可

※ 面接にて決定致しますので、まずは坂本教室までご連絡ください。

保護者の方へお願い
お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内の安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、近所出入口などの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますようお願い申し上げます。